

「ガス石油機器の安全向上と省エネ化への取り組み」



〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-12 北大手町スクエア3階

電話 03-6811-7370 HP: <https://www.jgka.or.jp>



専務理事 猪股 匡順

■日本ガス石油機器工業会について

一般社団法人日本ガス石油機器工業会は、1961年にガス石油機器の製造販売事業者の統一団体として設立され、現在は、家庭用のガス機器、石油機器、および関連する部品の製造、販売会社の計87社が加盟する業界団体です。当工業会はガス機器・石油機器産業の健全な発展と、安全で安心な生活文化の向上に貢献することを目的として、製品安全事業（製品安全化への対応）、需要促進事業（ガス機器・石油機器の需要拡大）、省エネ・環境事業（省エネルギー・環境問題への対応）、標準化事業（測定方法の標準化及び基準の策定）、情報調査事業（事業推進に係る情報収集・発信活動）、紛争処理事業（ガス機器・石油機器の事故等に係る事業者と消費者との紛争処理）の6事業を柱として活動しています。

■事業活動のトピックス

○製品安全事業

機器の安全高度化や規制の強化等によりガス石油機器を起因とする事故は大きく改善が図られてきた一方で、無資格者による機器の取付けや、ガス石油機器の工事とは無関係の他工事が原因となった製品事故、ネットモールを経由した経年劣化品や粗悪輸入品による事故が引き続き発生していることから、行政や関係団体、関係企業と連携し、広範囲な周知活動やネットパトロールの強化に取り組んでいます。また、カセットこんろとカセットボンベの経年劣化品への取り組みとして、昨年秋から年始にかけてSNSのX（旧ツイッター）とインターネットを通じて、製造後10年を経過したカセットこんろの所有者に抽選で新しいカセットこんろと交換するキャンペーンを開始しました。

○省エネ・環境事業

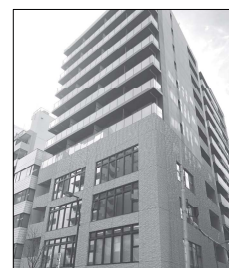
2021年に政府から公表された2030年度の温室効

果ガス46%削減目標を受け、同年10月の第6次エネルギー基本計画の中でハイブリッド給湯機やエコジョーズ、エコフィールなど省エネ性に優れた高効率給湯機を2030年度までに累計で3050万台普及させるとの計画が公表されました。

それぞれの高効率給湯機は日本特有の様々な住宅構造や気候に合わせて発展しており、国内住宅の約半数を占める集合住宅においては敷地面積の制約からタンクを持たない小型のエコジョーズ等が多く選ばれています。その一方で賃貸集合住宅においては給湯機の導入コストを負担するオーナーがその省エネメリットを享受できず、給湯機の高効率化が進展しない要因となっていることから、昨年末の令和5年度補正予算において、既存賃貸集合住宅向けの省エネ化支援事業として従来型給湯機から高効率給湯機エコジョーズ、エコフィールへの取り換えに1台当たり5～7万円の補助金の交付が決定しました。

元々これらの機器に取り換えることで入居者は年間約1.2万円の光熱費を削減する事ができますが、この補助金を活用することにより従来6.6～8.6万円程度であった材工の価格差が約1.6万円程度まで圧縮され、賃貸オーナーの負担も大きく軽減されることとなりました。（材工価格と光熱費は日本ガス石油機器工業会調べ）

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、当工業会としても家庭におけるエネルギー消費の約3割を占める給湯機の徹底的な省エネが最重要課題と捉えています。これまで以上に関係団体の皆さまや会員各社とも連携し、この補助金を最大限活用した省エネ化の加速に尽力する所存です。



入居ビル外観